



# リハビリテーション科



## 活動報告

# 1月

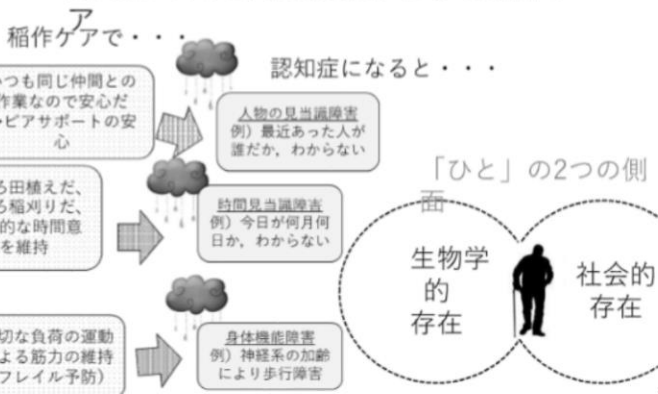
我が国らしい認知症ケアの最前線  
～寺院や農園におけるケア～

東京都健康長寿医療センター研究所  
岡村毅



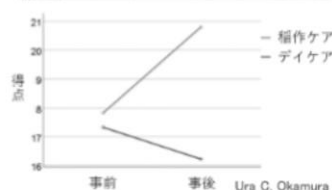
「認知症ケアの最前線」という演題での講習を受けてきました。  
認知症についての近年の知見や認知症ケアについて学ぶことが出来ました。  
中でもケアファームや寺院での認知症ケアがあることやその効果を知ることができ、知識の幅が  
広がりました。

### 認知症の人の人生を豊かにする稲作ケア



### デイケア参加者に比べて精神的健康が向上した

	稲作ケア群 (N=15)				デイケア群 (N=14)				交互作用	
	事前 Mean±SD	事後 Mean±SD	T値	P値	事前 Mean±SD	事後 Mean±SD	T値	P値	F値	P値
認知機能得点	20.8±4.3	21.6±4.2	-	0.196	18.2±7.7	19.0±7.6	1.44	0.17	0.068	0.797
精神的健康得点	17.5±6.7	20.5±3.7	-	0.015	17.6±4.8	16.5±6.7	1.08	0.29	6.472	0.017



通常のデイケア参加者15名と稲作ケアプログラム参加者の6か月後の認知機能 (MMSE) と精神的健康 (WHO-5-J) の得点変化をみたところ、稲作ケア参加者でより精神的健康が向上した。

Ura C, Okamura T, Yamazaki S, et al. Rice farming care as a novel method of green care farm in East Asian context: an implementation research. BMC Geriatr. 2021;21(1):237.

### なぜ寺院が最先端なのか

人は長く生きれば老いて、認知症になる日が来る。病院で「〇〇型認知症です」と診断されたら、何が起きているのかはわかる。診断を受けてきちんと対応することは大事だ。しかし、根本的な不安は解消されないのではないかと？

- お寺は1000年以上続いている人の営みである。旅立っていった先達がいる。
- 死が終わりではなく、命はつながっていることを実感できる。
- 弱っていくことを受け入れ、自分らしく生きる力を得ることができる。
- 見えるものがすべてではなく、何か大きな存在があると感じることができる。
- 人の悪い面ではなく、良い面を見ることができる。

